

日本臨床外科学会 国内外科研修報告

恵佑会札幌病院での研修を終えて

東海大学医学部外科学系消化器外科学

谷田部 健太郎

食道癌における術前化学療法, 手術手技, 周術期管理, 内視鏡治療の向上や免疫チェックポイント阻害剤の普及に伴い, 食道癌の治療方法は近年大きく進歩している。食道癌に対する手術手技は, 従来の開胸手術に加え, 胸腔鏡, 縦隔鏡, ロボット支援下食道切除術などがあり, 手術術式を含めた治療方法の選択は各施設によって様々である。臨床外科学会国内外科研修では, 食道癌治療において国内でトップクラスの治療件数を誇る恵佑会札幌病院で, 2022年9月27日から10月10日までの期間研修させていただきました。

恵佑会札幌病院は, 北海道全域より患者が集まる病院であり, 地域医療の癌診療を担う癌拠点病院です。創設者である細川正夫先生のお話を拝聴させていただく機会をいただき, “北海道でも食道癌治療ができる病院を作る”という強い信念をもとに, 恵佑会病院を設立されたと教えていただきました。恵佑会札幌病院は今年で創立41年となり, da Vinci Xiや放射線照射設備を備え, 消化器外科を中心とし消化器内科, 耳鼻咽喉・頭頸部外科, 形成外科, 麻酔下, 腫瘍内科, 緩和ケア内科, 歯科口腔外科, 病理診断科, 循環器内科, 放射線診断・治療科, 薬剤部や看護部, 診療技術部, 相談支援センターなど多岐にわたる診療科の協力体制で, 食道癌を含む悪性疾患や, 様々な良性疾患の診断から治療・治療後の経過まで診療する病院です。2021年8月に開設された新病院の通路は非常に広く作られており, 細川先生より“患者さんは歩いて病院に来るだけでなく, 車椅子で来院される患者さん, 家族と一緒に来院される患者さんもいるから, 広い通路が必要”というコンセプトのもと新病院を作られたと教えて頂きました。医師の根幹となる“患者さんを第一に考える”という理念が形となっている病院であると感じました。

本研修では, 食道癌に対する手術を中心に研修させていただきました。限られた研修期間ではありましたが貴重な症例を経験させていただき, 本報告記では3つの症例を報告致します。1例目は, 食道悪性リンパ腫寛解後の頸部食道閉鎖に対する喉頭温存下咽頭食道切除術です。消化器外科による胸腔鏡下食道切除術と胃管空腸吻合, 耳鼻咽喉科による下咽頭頸部食道切除と喉頭空腸吻合, 形成外科による血管吻合を行い, 各専門医の高い手術技術, 連携のもと無事に手術が終了しました。2例目は右側大動脈弓を有する胸腔鏡下食道切除術です。本症例は, 術野の妨げになるKommerell憩室がなく, 左反回神経が綺麗に描出されていました。解剖異常があるにも関わらず, 手術時間は約5時間で出血量も非常に少なく, 貴重な症例を経験させていただきました。3例目は, 多発食道癌に対するロボット支援下胸部食道全摘, 胃管再建術の症例です。ロボット支援下手術では, 食道切除術と胃管再建術ともにda Vinciを使用し, ロボット支援下手術の特徴である多関節機能を十分に活用した, 繊細かつ丁寧な最新の手術手技を経験することができました。

限られた研修期間であり, その他に行われていたロボット支援下直腸切除術や, 胃切除術をはじめとする手術を見学できなかったことは非常に残念でしたが, 恵佑会札幌病院消化器外科の先生方の洗練された手術手技, 多職種連携がとれた周術期管理を経験できたことは貴重な経験となりました。細川先生より“他人の真似ではなく, 何か新しい技術を付け加え, オリジナルの技術にすることを, 常に考えなさい”とご教授いただき, 今回の研修をもとに, 今後の診療に役立つよう努力して参ります。

この度, 国内外科研修という貴重な経験をさせていただき, 日本臨床外科学会会長万代恭嗣先生, 高

山忠利先生，遠藤格先生，恵佑会札幌病院会長細川正夫先生，久須美貴哉先生，西田靖仙先生，東海大学医学部消化器外科小柳和夫教授，山本聖一郎教授，中郡聡教授に心より感謝申し上げます。重ねて研修期間中にご指導いただきました，北上英彦先生，池田篤先生，佐々木邦明先生，吉川智宏先生，藤原有史先生，澄川宗祐先生，坂下啓太先生，新田健雄先生，恵佑会札幌病院手術室スタッフの皆様，病棟スタッフの皆様，診療技術部スタッフの皆様，秘書室の皆様，研修期間中の臨床業務を担っていただきました東海大学医学部消化器外科の先生方にお礼申し上げます。